

収入確保及び支出削減の取組方針

令和7年11月
霧島市上下水道部

1 目的

これからの上・下水道事業は、人口減少をはじめとする人口構造や社会構造の変化に加え、料金・使用料収入の減少、施設・設備の老朽化に伴う更新需要の増大、さらには近年各地で発生している地震などの自然災害への対応が求められています。

このような状況においても、安心・安全なサービス水準を維持しつつ、健全かつ安定的な事業運営を持続していくためには、新たな収入の確保及び支出の削減に取り組む必要があります。

以上を踏まえ、本方針を上・下水道事業における収入確保及び支出削減の取組方針として定めるものです。

なお、収入確保及び支出削減に関する具体的な取組については、従来の枠組みにとらわれない柔軟な発想で推進し、実施の可能性や効果を十分に検討したうえで、順次実行します。

2 具体的な取組内容

(1) 新たな収入確保対策

- ①資産等の売却による収入確保
 - 不要な土地等の売却
- ②広告活用による収入確保
 - マンホール蓋広告の活用
 - 公用車広告の更なる活用
 - 水源涵養林のネーミングライツの導入
- ③資金活用による収入確保
 - 定期預金の更なる活用
- ④補助金活用による収入確保
 - 活用可能な補助金の継続的調査
 - 補助要件緩和に向けた国への積極的な働きかけ
- ⑤霧島の「おいしい水」のブランド力を生かした収入確保
 - 市長部局と連携した企業誘致や移住促進の取組
- ⑥既存収入の見直し等による収入確保
 - 下水道事業に各種手数料の導入
 - 証明書発行手数料の見直し
 - 下水道接続率向上に向けた更なる広報
- ⑦寄附等による収入確保
 - 企業版ふるさと納税の活用
- ⑧販売による収入確保
 - 霧島市上下水道部マスコットキャラクター「すいどん」の活用

(2) 支出削減対策

① 経常経費の削減

● 公金振込手数料の削減

支払件数の削減、指定金融機関口座の指定

※同一債権者に対しての同一日でのまとめ払い（名寄せ）、支払日の集約等

● 固定経費の見直し

維持管理業務や保守契約の長期継続契約化

消火器の本庁（一般会計）一括購入への参加

ペーパーレス化の推進（「印刷＝コスト」の意識づけ）

※業務打合せのペーパーレスの推進、両面コピーや集約コピーの徹底、カラーコピーの適正使用等

● 企業債支払利息の削減

借入金利方式の見直し（固定金利方式から利率見直し方式へ）

償還方法の見直し（元利均等方式から元金均等方式へ）

② 事業内容の検討と見直し

● 施設の統廃合および配水区域の再編（水道事業）

あわせて、更新費用の削減を図るため、既存施設を長寿命化

● 実施事業の優先順位付け

優先順位の低い事業は後年度へスライド

着手見込みのある事業から実施設計委託を実施

③ 民間活力の活用

● 官民連携による施設更新・維持管理

ウォーターPPP、包括的民間委託、指定管理者制度の導入

● 設計・施工の一括方式の導入

多様な入札及び契約の方法の実現と、工事設計事務の効率化

④ AI 等新技術の利活用

● 人工衛星、AI 等を活用した漏水調査、管路劣化調査の実施

● 高性能機器の導入による省エネルギー化

（先進事例等を参考）

● 料金収納アプリ等の導入

（お客様の利便性向上や窓口業務の軽減）

● 検針票および納付書の印刷・発送業務の廃止